

人権デーだより

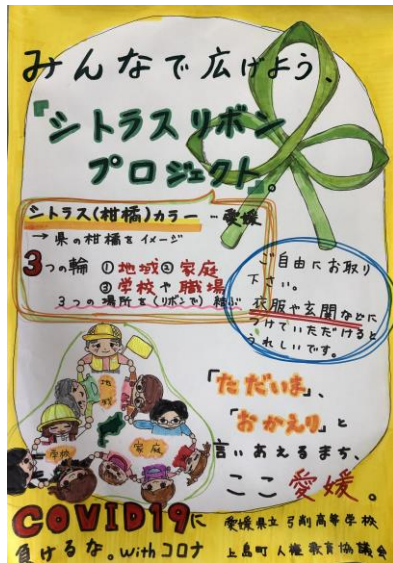
NO.144

2021.2.18(木)発行

弓削高校人権委員会

☆ シトラスリボン・プロジェクトを家庭にも広めよう！

先月143号で、様々なリボン運動があることを紹介しました。また、ふれあい学習会にてみんなで作った、「シトラスリボン」をみなさん、身に付けていますか？今回は、ふれあい学習会の振り返りを行いたいと思います。



シトラスリボン・プロジェクトとは…

新型コロナウイルス感染者への偏見・誹謗中傷を無くそうという運動。

松山大学・愛媛大学の研究者たちが主催する「ちょびっと19+」が提唱。

愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めている。

【↑人権委員(1年村田優月さん)作成。リボンの輪は地域と家庭と職場(学校)を表す。】

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。

コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会をめざしませんか？

◆参加の仕方

- 

シトラスカラー(柑橘をイメージした色)のリボン・紐などを準備します。リボンの色や材質はあなたの創意工夫で。
- 

その材料で「地域・家庭・職場(or学校)」などを示す「三つの輪」をつくれれば、「シトラスリボン」のできあがり。結び方は「飾り結び」「総角結び」などと呼ばれるものを参考に。
- 

この「シトラスリボン」を身につけたり、おうちの玄関や郵便受けなどに掲示してみたりしてください。「元気ですか?」「また会いましょう!」のことばとともに贈りあうのもよいかもしれません。
- 

リボンの画像をSNSで発信することも、このプロジェクトが広まるきっかけになります。
#ただいま #おかえり
#つっていいあえるまちに
#citrusribbonfromehime



TRY

このプリントを家庭に持ち帰り、「シトラスリボン・プロジェクト」をみんなで家庭や地域の人にも広めていこう！